

### 令和 元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	住民参加で作るインバウンド・ガイドブック事業		
事業主体 (連絡先)	信濃路てくてく 長野県諏訪郡富士見町富士見11404-221	tell	0266-62-612
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	965,286 円	(うち支援金 : 772,000 円)	

#### 事業内容

- ・住民参加で作る英語版ガイドブックの作成  
地域住民をガイドブックづくりに巻き込むための参加型ガイドブック作成を行った。地域によって条件が異なるため、取り組み方は様々となったが、無事作成することができた。  
英語による待ち受けガイドツアーは、日数を限って実施した。当初、4回の実施を予定していたが、3階になってしまった。また、計画通りの展開にならず、待ち受けガイドの難しさを思い知るようになった。



松本 ALSA とのワークショップ

#### 【目標・ねらい】

- ①住民参加で作るガイドブックの作成
- ②木曾方面からのインバウンド観光客の誘導

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・英語ガイドブック4種類を作成し、昨年と合わせ県内で8種類となった。
- ・ガイドブックの活用方法を検討した結果、外国人が主に宿泊するゲストハウス等に配置することによって、効果があるのではと考え、英語圏の外国人が多く訪れる木曾地域を中心に20カ所の宿泊施設に、ガイドブックを配置した。

#### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

計画していたガイドブック作成については、住民の参加に一定の成果があった。英語待ち受けガイドについては、模索の段階にとどまったが、宿泊所への配置という新たな展開があった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ガイドブックを無料配置する宿泊所をできるだけ増やすことで、諏訪地域をアピールできる可能性を見付けた。これをさらに進めていきたい。
- ・ガイドブック配布先のゲストハウス(辰野町)で、宿泊者に対して下諏訪町にて英訳ガイドツアーをやりたいとの相談を受けた。今年度の活動の延長として、実施に向け、協力して進めていく予定でいる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある